

令和7年度 志賀中学校教育目標

I 校訓 「自主 自律 創造」

II 教育目標 「自ら学び、心身を鍛え、未来の創り手となる生徒の育成」

1 めざす生徒像

- (1) 主体的に考え、他者と協働して課題解決に向かって努力する生徒（知）
- (2) 思いやりと感謝の心を持ち、自ら考え、判断して行動する生徒（徳）
- (3) 健康でたくましい心身をもち、粘り強く物事に取り組む生徒（体）

2 めざす教師像

- (1) 豊かな人間性と愛情をもち、生徒一人一人の可能性を引き出し、伸長する教師
- (2) 確かな指導力と使命感をもって指導し、生徒・保護者・地域から信頼される教師
- (3) 教師としての誇りをもち、自己研鑽に励み、生徒と共に成長する教師

3 めざす学校像

- (1) 生徒と教師が共に生き生きと活動できる安全・安心な学校
- (2) 生徒と教師が共に学び合い、目標に向かって着実に成長できる学校
- (3) 家庭・地域と連携し、共に生徒を育てる開かれた学校

III 今年度の重点目標

1 学力の向上

- (1) 「主体的・対話的で深い学び」を視点とした授業改善と学校研究の深化を図る。
- (2) 主体的な学習態度の育成と学習規律を両輪とした取組を徹底する。
- (3) 基礎・基本及び活用力定着のための朝学習・家庭学習等のシステムを機能させる。

2 生徒指導の充実

- (1) 生徒の自己存在感、自己決定の場を持ちながら、共感的な人間関係を育む。
- (2) 生徒理解に努め、信頼関係を築くと共に、適切な支援により生徒の成長を促す。
- (3) チーム学校として、不登校、いじめ、問題行動への対応を行う。

3 心の教育の充実

- (1) 生徒一人一人の自己有用感を高め、いじめ・不登校を生まない温かい集団づくりに努める。
- (2) 学校におけるすべての教育活動を通して、生徒の主体性を育む。
- (3) 家庭・地域と連携した心に響く道德教育の充実を図る。

4 教師力の向上

- (1) 高い倫理観による率先垂範に努めると共に、能率的に職務を遂行し、働き方改革を進める。
- (2) 保護者や地域の声を真摯に受け止め、丁寧な説明、迅速な対応を行う。
- (3) 小・中・高の交流やPTA活動を推進し、連携・協力体制の構築と教育活動の充実に努める。